

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp
 川西町結崎 862-7 0745-43-2415
 吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
 田原本町大木 113-5 090-5257-4446
 森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
 田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
 (事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
 三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

秘密保護法案自公が成立強行

憲法じゅうりん許
 さない
 共産党最後まで対決
 仁比氏が反対討論

憲法の大原則—人権・民主主義・平和を踏みつづす希代の違憲立法・秘密保護法案が6日夜の参院本会議で、自民・公明の強行採決で成立しました。日ごとに、ジャーナリストや学者、俳優・映画監督など広範な国民各層から法案への批判が高まり、廃案・慎重審議を求める声が噴き上がるなかの暴挙です。民主党は秘密保護法案の討論前にいったん退席、採決には戻りませんでした。みんな、維新は退席しました。日本共産党は最後まで自民党に対峙(たいじ)し、法案への反対を貫きました。

反対討論にたった日本共産党の仁比聡平議員は「暴挙に暴挙を重ね、安倍政権が『この世論から逃げ切った』と考えるなら大間違いだ。追い詰められているのは安倍政権と暴走する与党だ。廃案を求める国民のたたかいはいっそう燃え盛ることになる」と指摘しました。「日本共産党はひろく国民各層と手を結んで、憲法を高くかかげ、米軍とともに海外で戦争する国に変え

る企てと断固としてたたかう」との決意を表明しました。

これに先立ち国家安全保障特別委員会の中川雅治委員長(自民)の問責決議案が参院本会議にかけられ、日本共産党の井上哲士議員は「強行採決の暴挙を満身の怒りを込めて抗議する」とのべました。問責決議案は与党の多数で否決されました。民主党はこの直後、本会議を退席しました。

6日、自公両党は法案の強行成立を狙い会期を2日間延長。衆参の議院運営委員会や本会議が断続的に開かれ、法案をめぐる与野党の攻防が続きました。

同日昼の参院本会議前の国会議員団総会で、日本共産党の志位和夫委員長は「安倍政権の暴走とたたかい、悪法を葬るたたかいは本会議の結果がどうなるうとも続く。その決意をもって頑張り抜きたいと表明しました。

同日夕、民主党は内閣不信任決議案を衆院議長に提出。本会議で賛成討論にたった日本共産党の穀田恵二国対委員長は「安倍内閣の反国民的暴走を絶対に許すことはできない」とのべました。自民、公明、維新の反対多数で否決されました。2013年12月7日(土)

消費税増税
 前提で5.5兆円
 経済対策閣議決定
 企業優遇さらに

安倍晋三政権は5日、経済対策を閣議決定しました。来年4月に消費税率を8%に引き上げること前提に、景気腰折れの回避を目的としています。

国の財政支出は5.5兆円で、地方自治体や民間の負担を含む事業規模は18.6兆円です。

経済対策は、(1)競争力強化策(2)女性・若者・高齢者向け施策(3)東日本大震災からの復興、防災・安全対策の加速(4)低所得者・子育て世帯への現金給付—を柱としています。競争力強化策には、2020年に開催予定の東京五輪を口実に、交通インフラ整備などの公共事業が盛り込まれています。

住民税が非課税の低所得者には、1人当たり1万円を給付。年金受給者にはさらに5000円を上乗せします。また中低所得者に対しては、子ども1人当たり1万円を給付する子育て一時金も盛り込まれました。

一方で、企業に課せられている復興特別法人税を1年前倒しで廃止するための財源を措置しました。

経済対策を裏付ける総額5.5兆円の13年度補正予算案は12日に決定。財源は、13年度の法人税収が当初見込みを上回る分などを活用し、新たな国債の発行はしません。

経済対策の骨子

- 一、対策規模は5.5兆円、事業費べ—スでは18.6兆円
- 一、復興特別法人税を13年度末で廃止。企業減税措置と併せて設備投資、質上げ促す
- 一、対策実行を裏付ける13年度補正予算案は総額5.5兆円
- 一、財源確保のための新規国債発行はしない

2013年12月6日(金)

社会保障
 プログラム法成立
 国民に「自助」強制
 参院本会議小池氏反対

社会保障制度改悪の方向と工程を盛り込んだ社会保障プログラム法案が5日の参院本会議で、自民、公明の賛成で可決成立しました。日本共産党、みんな、維新、社民、生活は反対しました。民主は欠席しました。

反対討論に立った日本共産党の小池晃議員は「憲法25条に基づく社会保障という考え方を完全に放棄し、国民を無理やり『自助』に追い込む宣言だ」と指摘。医療・介護・年金など社会保障の全分野にわたる制度改悪を政府に義務付け、消費税増税分は社会保障に」という偽りの看板も投げ捨てていると批判しました。

2013年12月7日(土)

中学校給食を実現しよう

十二月議会に、勇気ある素敵なお母さんが「中学校給食の早期実施を求める請願」を提出されました。

「栄養面で偏りがちなると悩んでいる保護者、弁当を毎日作ることに悩んでいる保護者など多くの保護者が中学校給食の実施を切望している」と。議会は賛成多数で採択しました。

ただ、「生徒会で、給食を実施してほしい旨の決議がなされた場合なら積極的に賛成したい」という森井議員の発言にはびっくりです。義務教育の給食は、自治体が責任を持って提供することは

学校給食法に定められています。勉強もしついても食事も家庭と学校が補い合あって責任を果たしていくものです。町長には、「中学生は食べ残す」という思い込みがあるようです。

実際は、王寺町内2中学校のおかずの残量は昨年一〇〇kgでした。本町南小学校の残量は一八〇kgでした。自分の健康状態を確認し、基本的な食事をつくる食育を身につけるのに中学校給食は重要です。町長が、議会の意向を尊重し中学校給食を実施されることを強く求めます。

田原本議会
議員
吉田容工



主権者パワーで撤廃しよう!

皆さんは、どのようにご覧になりましたか。六日深夜、希代の悪法『秘密保護法』を、国民過半数が反対し、八割が慎重審議を求めているにも関わらず、自民・公明の政府与党が採決を強行し、なりふり構わず成立させた様子をです。

私はこの日の午後、宣伝カーに乗り結崎駅を皮切りに、田原本駅、八木駅、JR高田駅、王寺駅の各駅頭から、この秘密保護法なる物が、国民主権、基本的人権、恒久平和の憲法の基本原則にとごとく反している事。また、国会のルールを踏みにじった強行に次ぐ強行で採決を図り、内容も無茶苦茶なら、決め方もでたらめで有る事。そこ

までして押し通すのは、廃案を求める国民世論に追い詰められている証拠である事等を説明し、日本共産党は最後まで廃案を求める国民世論としっかり手を携え、憲法を高く掲げて頑張る決意を述べ、主権者パワーで葬ろうと訴えました。

この時間帯の各駅頭の人通りは、決して多くは有りませんが、それでも通りがかった方の中には、「廃案、頼んまっせ」とか「頑張って」と、声をかけてくれました。

さあ、これからは撤廃有るのみです。主権者パワーの大同団結で、希代の違憲立法の撤廃へ意気高く臨みましょう。

川西町議会
議員
芝 和也



三宅町12月議会

三宅町議会の第4回定例会が6日9時半から開かれ、11時過ぎには散会しました。議案は、25年度の一般会計、国民健康保険、介護保険、上下水道事業の補正予算案、後期高齢者医療の条例改正案、児童館及び学童保育施設の指定管理者の指定について、市町村総合事務組合の組織変更と規約改正となっています。

一般会計の主な補正予算案の項目は、補助金についての仕分けを行う委員の報酬、庁舎の補修、障害者の増に伴う費用の増、国民健康保険会計への繰出し、地場産業・観光施策の増額、町道1号線・橋の工事費、山辺広域事業組合から事業の移

管に伴う費用、などとなっています。国民健康保険会計では医療費の増額、一般会計から277万円の繰り入れ。介護保険事業では地域密着型給付費の減、介護住宅補修費等介護事業に伴うもの。上下水道事業では用水施設の工事費の増額。後期高齢者医療の条例改正は法改正による係数の変更に伴うもの。

児童館及び学童保育施設の指定管理者の指定については、本会議の30分前に担当部長から説明があっただけで十分な審議ができていないという理由等、議案に関する議員2名の退席で否決になりました。

三宅町
池田年夫



北小の学校栄養職員

私にとっては議員2期目に入り、初回の議会が終わりました。

今言わなければと思い、学校栄養職員(栄養士)の件を質問しました。と言うのは給食調理業務が民間事業者にすでに委託されている南小学校に続いて来年度から田原本小学校と北小学校までもが委託されるという件です。勿論、私は委託には賛成ではありません。

現在、町栄養士が教育委員会に1名、南小と田小に各1名ずつ配置されています。民間事業者に調理業務を委託すると言う事は食材が納入された時、栄養士と業者の責任者で品目ごとに鮮度、品質、量などを検収しなけ

ればなりません。また献立について調理の指示も両方で協議しなければならぬ事になっています。ところが北小には栄養士がいないのでそれが出来ません。そこで「北小にも配置すべき」と正し

たのですが本会議では曖昧な答弁でした。翌日の総務文教常任委員会では共産党の吉田議員が「配置基準は、委託ではそれとは別なので配置すべき」と更に突っ込んで討論をされ、「人材を配置する」という答弁が得られました。来年度から北小にも栄養士が配置され、更に充実した学校給食に期待しています。

田原本議会
議員
森 良子

